



クラスで取り組んでいること

☆一年間を通して、困った時には泣くのではなく、友達や担任に伝えられるようになってきました。

ご家庭でも、困っている姿が見られた時など、自分で言える力を信じて待ってあげて下さい。

今月の聖句

「強く 雄々しくしくあれ」

(ヨシュア記 1章5〜6節)

今月の賛美歌

♪ どんなときでも

1. どんなときでも どんなときでも 苦しみに負けず くじけてはならない イエスさまの イエスさまの 愛を信じて

2. どんなときでも どんなときでも 幸せをのぞみ くじけてはならない イエスさまの イエスさまの 愛があるから

1年間ありがとうございました!!

今月の歌

♪ ドレミのうた

ドはドーナツのド レはレモンのレ ミはみんなのミ ファはファイトのファ ンは青い空 ラはラッパのラ シは幸せよ さあ歌いましょう

ドレミファソラシド ドシラソファミレ ドミミソソレファファラシシ×2 ソドラファミドレ ソドラシドレド

どんなときにも 列を組んで 皆楽しく ファイトを持って 空を仰いで ラーラララララ 幸せの歌 さあ歌いましょう ドレミファソラシド

気づけば3月。ついにこぼと1組で過ごす最後の月となりました。本当にあっという間でした。保護者の皆様、様々なところで支えてくださり、ありがとうございました。毎日元気いっぱいクラスで、お友達がお互いに影響を与え合って、「なんでも楽しむ! やってみよう!」という前向きな気持ち子どもたちから伝わってきました。先月も書かせていただきましたが、男女問わず誰とでも仲良くなれる子が多く、給食のお席や集いのお席が変わっても、変わるたびに輪が広がるようなそんなクラスでした。

時には喧嘩をしたり、幼稚園に行くのにドキドキする気持ちになったりすることもあったと思います。そのたびに全体で共有したり、「ちくちく言葉とふわふわ言葉」「カーモンスター、気持ちは何色?」等気持ちを大切にしたいと願った取り組みもしてきました。それもあってか、お友達の気持ちになって「今日はママと居たい気分やったのかな?」「そんなときもあるよね! 私も前パパと離れたくなかったもん!」と言ったり、次登園してきたときには「あ!来た!おはよう言いに行こう!」と遊んでた手を止めて行く等、本当に温かいクラスで私自身も沢山の学びになりました。他にもお友達が苦手だったお野菜を食べられるようになったとき、初めてお友達が縄跳びを1回飛べるようになったとき、いつもご用意がゆっくりな子が時間に間に合ったとき、「すごいね!!」「やったやん!!」と、自分の事のように喜ぶ姿も見られました。お友達の涙にもよく気が付き、ティッシュを持って行ってあげたり、「どうしたん?なんかに嫌やったん?」「ご用意手伝うわ!」と、小さい先生になってお話を聞く姿も見られました。

団結力や仲間意識も高く、大人がいなくても自然にみんなまで遊べたり、補助の竹下がお休みの時は、「今日さおり先生お休みな?」「じゃあみんなで頑張ってお片付けしなくちゃね♪」と主体的に頑張ろうとする姿も見られました。振り返るとまだまだエピソードは沢山ありますが、子どもらしく素直でまっすぐ、「ももこ先生おはよう!! だいすき!!」と毎日元気いっぱい来てくれる姿に毎日癒されていました! こぼと1組の担任として過ごせた1年間、心より嬉しく思っています。お別れは少し寂しい気持ちもありますが、進級してこひつじさんになった時、また成長を見せてくれるのを楽しみにしています。ご心配をおかけしてしまったこともあったかと思いますが、最後まで温かく見守ってくださりありがとうございました!

冷蔵庫の中身を書いてみよう!!



色混ぜ遊びや松ぼっくりタワー等で絵の具の経験がある子どもたち。扱いにも慣れていて、「乾かしてから続きました明日する!」と重ね塗りの技法を使って丁寧に仕上げる姿が見られました。「不思議な飴玉が入ったコーラ」「イチゴケーキ」「おだんご」「フルーツのおうち」「オレンジジュース」等自分が好きなものや冷蔵庫に入っていて嬉しいものを想像して書きました。好きな大きさ、形の画用紙を選んで、お話ししながら色鮮やかに描いていました! 「何を書いたらいいかわからない」という子が1人もいないのが、相変わらずすごいなと思いました!

絵の具の取り組みをする中で、お台所には行けないけれどお台所さんへの興味が広がっている子どもたちにぴったりの絵本を読みました。「給食室の1日」という小学校低学年向けの絵本です。年中には少し難しいかとも思いましたが、実際読んでみると興味津々。「時間になっちゃったから続きはまた明日お楽しみに...」という、「えー!! 何で!」「気になる!」と待ちきれない姿も。よほど絵本が気に入ったのか、絵本を真似っこして絵をかき、オリジナルの絵本作っている子もいました。そんな中、お台所さんから「中に入ることはできないけれど、動画を撮って見せることはできるよ!」と嬉しい提案をいただきました。「折角来てもらえるから、何か聞きたいことある?」と聞くと次々に手が上がりました。自分たちで冷蔵庫を作った経験から、「冷蔵庫の色は?」「中身は?」「何個ありますか?」等冷蔵庫の質問が一番多く上がりました。他にも「ゼリーはどうやって作ってるの?」や「何人分作ってるの?」「チキンの形は?」と沢山意見が出ました。子どもたちが主体的に質問を考えてくれたところ、次々と手が上がったところに関心の強さを感じることができて嬉しかったです。「じゃあ、いつ来てもらう?」「何をしてほしいかどうやって伝える?」と聞くと「お手紙を書いて持っていったらいいんじゃない?」と教えてくれました。「ありがとうも言いたい!」と言ってくれたので、最後にみんなで「いつも作ってくれてありがとう。いつも美味しいよ」と子どもたちで文章を考え、それを最後に全員で伝えることも決めました。クラスでの取り組みということもあり、1人1つは何か役割をしてほしいという私の思いもあったため、係を決めて、「インタビュー係」「お手紙を書く係」「お手紙を渡しに行く係」「マイクを作る係」と4つの係に役割分担することになりました。



お手紙を書く係

マイクを作る係

渡しに行く係



インタビュー係

インタビューを何かに残したいと、新聞づくりをしました! わずか1時間で完成! 何日もかけて作ると思いきや1日で仕上げる勢いと集中力、興味に驚きました!

プロジェクターを使ってお台所の中や、冷蔵庫と冷凍庫の違い、手洗いの大切さ、カレーの作り方などを見せて頂きました。子どもたちもみんなで考えた質問を、ドキドキしながらもしっかりと発表していました!



子どもたちの興味から活動への広がり予想して書いてみたものです!



職員室前に飾っています!



役割分担をしたことで、制作が得意な子、みんなの前で発表するのはドキドキするけれど、文字は書ける!とお手紙を書いてくれた子、絵をかくのが好きな子、それぞれ自分の得意なことが生かされて自信に繋がりました。1学期からびわJamづくり、餃子の皮でピザ、スイートポテト等様々なクッキングをしました1年でした。きっとその経験がお台所への興味、関心につながってくれたのだと思います。今回の取り組みでお台所さんとのつながりが深まり、「ばいばい!」「いつもありがとう!」と、食器を持ってきてくれたお台所さんに伝える姿も見られました。帽子とマスクでほぼお顔も見えず、交流する機会もなかなかない中、こうして子どもたちの興味から感謝へと繋がったこと嬉しく思います! これからも給食が出てきて当たり前ではなく、その陰で支えてくださる方や様々なことへの感謝を忘れず、こひつじさんになって成長していってほしいと思います!

こんなに大きくなったよ!



楽器遊び・こひつじさんお別れ会

「もうすぐこひつじさんが卒園するけどどうしたいかある?」と聞くと、「お歌を届けたい!」と素敵な提案が。ちょうどそのころ、自由遊び中に楽器を用いて演奏会をして楽しむ姿がありました。そこで、「ありがとうの花」の歌と、1組グループで以前体操をしたことのある「勇気100パーセント」の楽器遊びとダンスをするようになりました。「ありがとうも言いたい!」「お手紙も書こう!」と、お別れの言葉も届けることになり、「卒園おめでとう!」と皆で伝えることになりました。お手紙の文章もみんなで考え、張り切る姿が見られました! 勇気100パーセントでは、楽器チーム、お歌チーム、ダンスチームに分かれて、こぼと組がお手本となり、こうさき1組、こひつじ1組と皆で一緒に体操をしました。中には廃材を使って自分で楽器を作っている子もいました。最後はこうさきさんと花道をつくって、送り届けました。「涙が出たよ!」「心があったかくなった!」などなど素敵な感想を言ってもらえて、最後に素敵な思い出ができました!

マカス、タンバリン、太鼓(鼓笛隊)を作ったよ!

ありがとうの花

楽器遊びがステージに!

一緒に遊んでくれてありがとう!



勇気100%

